

# 比叡平 一丁目 自主防災会だより

No.37

発行責任者  
影山哲男  
電話  
529-1107

皆様、新年あけましておめでとうございます。旧年は大阪で大きな地震があったり、相次いで台風が接近するなどいろいろな災害があり、今後の防災について教訓となることが多い一年であったように思います。

特に9月4日の台風21号では、強風により比叡平内でも屋根などに被害を受けた家屋が多数出たり、ほぼ一日停電になるなどの被害がありました。今後も近畿一円で大規模な災害が起こった場合、長期間にわたって停電となる可能性も多分にあり、今後の防災対策としてもっと積極的に停電は考えていかなければならない課題であることを教えられました。

新たな年が災害のない一年であることを祈りつつ、もしもの時に備えて少しでも被害が軽減できるような活動を皆さんとともに考えてまいりたいと思います。本年も一丁目自主防災会にご協力をよろしくお願い申し上げます。

一丁目自主防災会 会長代行 千葉祐嗣

## 自治会と合同で消火器訓練・餅つき

11月25日、防災訓練を行いました。総勢40人余りが参加しました。

地域の防災について、自治会館やまびこ、学区防災倉庫（自治会館西側）、小学校の防災倉庫にある防災物品の説明を学区自主防災会会長の久保田さんから聞き、そのあと消防署員の方のご指導で消火器訓練と通報訓練を行いました。

南海トラフ大地震は、30年以内に80%の確率でやってきます。電気、水も止まってしまふ。発電所が止まってしまふので、1週間は自力で生きていけるよう準備をしておくことが大切との

こと。その時にどうしても必要なものは、飲料水は1人1日2リットル×7日間、1人1ケースとして、2人だと2ケースだそうです。



次は消火器訓練です。消火器の使用法は、①ホースを向け②ピンを抜き③握れば、出る。3〜5mしか飛ばないので、火元に近寄って使うこと（火や煙に慣れていないと近寄れない。煙を吸うと危険なので注



から5mほどに近づく。遠くには飛ばないので、火の手前から撒いていくようにして、火の下の燃えているものに噴射する。

その次は119番通報の訓練。実際に119通報し、大津市消防通信司令にかけました。司令は市役



所新館にありますが携帯からだ京都市にかかることもあるので、「何々消防です」と言われた時、「大津市比叡平です」と答えましょう。分かる範囲で今いる場所について答える。「火事か、救急か」、向こうから順に聞いてくるので、何丁目何々、何が燃えているのかなどを答えます。最後に名前と電話番号を聞かれます。これは答えにくいこともあるかもしれませんが、逃げ遅れがないか、無事かの確認に使われますので是非答えてください、とのことです。

訓練後はお餅つき、自治会の多くの方々のお世話になりました。みんなでお餅を賞味しました。（文：千葉影山、写真：福田）





## 知っていますか？「東京防災」

災害から身を守る全ての情報  
が書かれている！

「東京防災」。2015年に東京都が全世帯に配布した防災ハンドブックです。災害に対する備えや発生時の対処法など役立つ情報がわかりやすくまとめられています。名前は「東京」とついています。どこの地域でも役立つ内容が満載です。

例えば、災害時の避難判断や情報の収集方法、備蓄品リスト、日常備蓄の種類と量、安否確認方法と災害用伝言板の使い方、簡易トイレ、簡易オムツ、食器や簡易コンロの作り方、応急処置の仕方などが詳しくまとめられています。

あまりにも評判がいいので現在は書店で1冊140円で購入することができません。大津京のイオンの未来書房でも販売されています。

「東京防災」を使って「我が家の防災対策」を話し合ってみてはいかがでしょうか。巻末には家族の名前、生年月日、血液型、持病、携帯電話番号、学校・勤務先の情報を書き込めるページもあって、何かの時はこれ一冊を持ち出せばすみます。

また「東京防災」は電子書籍としてKindleや楽天koboなどで無料で配布されています。

東京都防災ホームページでも閲覧が可能です。スマートフォンをお持ちでしたら東京防災アプリを無料でダウンロードできます。このアプリは日本語だけでなく英語、中国語と韓国語にも対応しています。約300ページにも及ぶ防災ハンドブックがスマホでいつでも見られるというのはとてもいいですね。今年最初の防災対策として家族でご覧になってはいかがでしょうか。(文：土田)



## 一丁目自治会 「新消火器」設置のあれこれ

一丁目自治会長 大木文雄

消火器の寿命は10年である。一丁目自治会の新消火器設置の計画は今年度4月が発端であった。15台を買い替えなければならぬ時期に來ていたからである。

大津市消防局が補助金を出すというので、早速応募した。まもなく消防局からの補助金交付決定の通知を受け、アヤハディオで10型の消火器を購入したのが6月であった。15台で総額82,000円。

その後、それぞれの消火器に白ペンキで「一丁目自治会」と「年月日」と「番号」を書き、それらを一丁目の指定の15か所に、旧消火器と引き換えに設置した。旧消火器はアヤハディオで引き取ってもらった。三日間の大仕事であった。

ところでこれで一件落着とはならなかった。なぜなら消防局の補助金(24,200円)の交付決定通知には、今年度から新たに「一丁目自治会」でその器材を活用した防災訓練をすること」が義務付けられていたからである。防災訓練をしなければ補助金が出ないというわけである。しかも消防局員が参加するような、あの意味しつかりした防災訓練でなければならぬというのである。要するに簡単な防災訓練では補助

金が出ないとそこには暗示されていたのである。春に一日がかりの「総合防災訓練」を熱い気持ちでやったばかりなのに、またかといった圧迫感があった。

結局、11月25日(日)に、一丁目自治会の「餅つき祭」と一緒に防災訓練をやること、自治会役員会と自主防災会の会議で了承された。しかし日時は決定されたが、どのような防災訓練を消防局は望んでいるのか、それを知るために消防局に足を運ばねばならなかった。

消防局の要求を加味させながら、11月25日、中消防局員3名の出席の下に、「通報訓練」、「防災器具庫点検」、「消火器取扱訓練」が行われた。新消火器設置の現場確認と防災訓練実施の二つの結果が考慮されて、大津市からの補助金が出ることが分かったのは、つい先日、12月10日のことであった。ほっとした。これ以後、多発する災害の危機が乗り越えられればと思うと嬉しい。

### 活動会員を募集しています

防災に関心のある方は、いっしょに考え行動しませんか。参加を希望される方は、お近くの活動会員まで。

### 自主防災会会費をお寄せ下さい

一丁目自治会からは年間5万円の活動費を頂いています。自治会員でない方には、年間500円の会費納入をお願いしています。